

日本海東北自動車道

「あつみ温泉IC～鶴岡JCT」開通から1年
あつみ温泉の観光客が大幅に増加

日本海東北自動車道のあつみ温泉IC～鶴岡JCT間について、平成25年3月で開通から1年が経過しました。平成25年3月14日に開通1年後の交通状況の調査を行い、あわせて開通による整備効果をとりとめましたのでお知らせします。

■交通量

地点名	交通量			摘要欄
	開通前 (H24. 3. 21)	開通1ヶ月後 (H24. 4. 23)	開通1年後 (H25. 3. 14)	
日本海東北自動車道(鶴岡JCT料金所)	—	900台/日	1,000台/日	有料区間
日本海東北自動車道(三瀬)	—	5,900台/日	6,300台/日	無料区間
国道7号(小波渡)	8,800台/日	5,100台/日	4,300台/日	

■開通1年間の整備効果(別添資料)

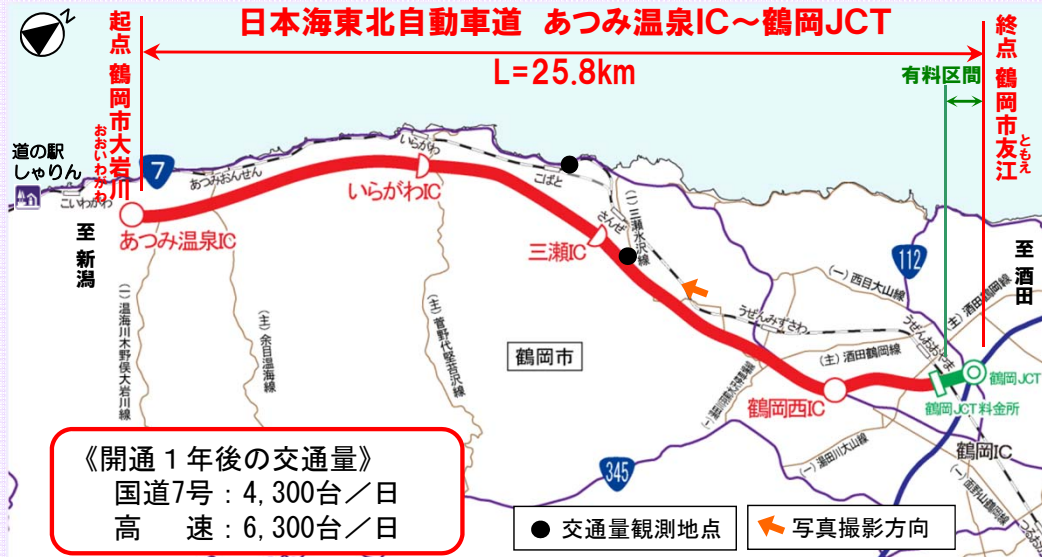
- ・「あつみ温泉」の観光客が大幅に増加
- ・温海地域からの救急搬送の円滑化
- ・国道7号由良坂の「登坂不能」リスクが軽減
- ・温海～鶴岡間の交通事故が減少

【 発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会 】

問い合わせ先			
国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所			
道路副所長	伊藤 啓一		
調査第二課長	鈴木 久	TEL 0234-27-3331	(代表)
東日本高速道路株式会社 東北支社 鶴岡管理事務所			
副所長	原子 義弘		
工務担当課長	高橋 隆	TEL 0235-22-8766	(代表)
(受付時間 平日8:50～17:20)			

【開通1年後】日本海東北自動車道 あつみ温泉IC～鶴岡JCTが開通して

(平成24年3月24日開通)

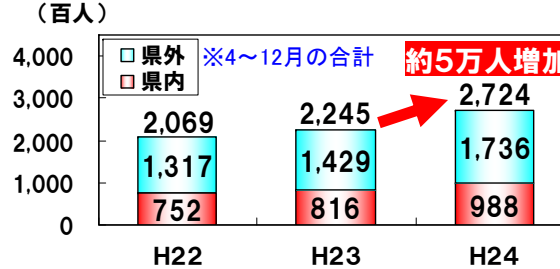


- ①あつみ温泉の観光客が大幅に増加
- ②温海地域からの救急搬送が円滑化
- ③国道7号由良坂の「登坂不能」リスクが軽減
- ④温海～鶴岡間の交通事故が減少

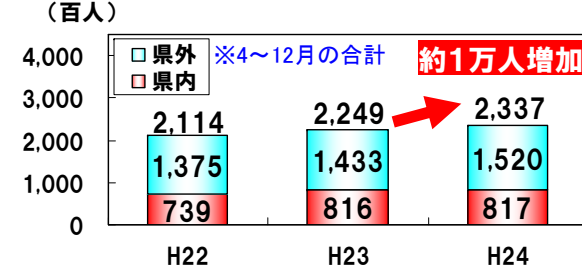
①あつみ温泉の観光客が大幅に増加 【観光活性化】

◆開通後「あつみ温泉」や道の駅「しゃりん」の入込客数が大幅に増加し、地域の観光が活性化

《あつみ温泉の入込客数の推移》



《道の駅「しゃりん」の入込客数の推移》



◆地域と行政が連携した取り組みを実施し、高速道の集客効果をフルに活用



▲あつみ温泉IC出口での観光チラシの配布



▲鶴岡市観光連盟による観光キャンペーン

◆観光活性化効果(鶴岡市市議会だより)

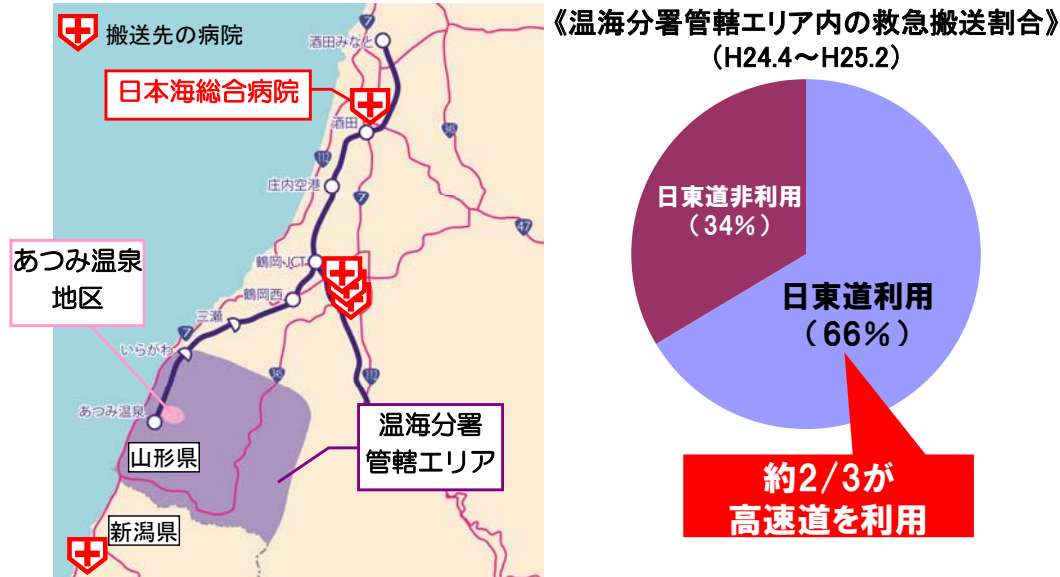
- ・4～7月のあつみ温泉の入込客数は5万9千人と、過去5年間で最大。
- ・道の駅の利用が増え、農林水産業の振興にもつながり、日東道の延伸効果が実感できる。
- ・住民自らが地域をPRし、にぎわいづくりへの機運が高まっており、今後も地域活性化のために、新たな取り組みについて地域と行政が一体となり進めていきたい。



②温海地域からの救急搬送が円滑化

【救急搬送の支援】

- ◆救急搬送の約2/3が高速道を利用するとともに、あつみ温泉地区から日本海総合病院までの搬送時間が短縮し、患者の負担軽減や、安定した車内処置が可能に



◆救急搬送の効果(温海分署ヒアリング調査)

- ・一般道に比べ振動が少なく、患者の負担軽減になった上、搬送時間の短縮にもつながりました。
- ・安定走行が可能となったため、心電図や聴診器等も扱いやすくなりました。

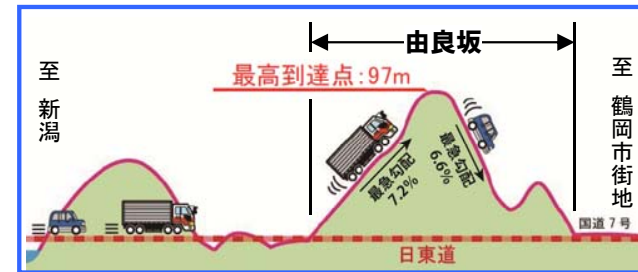
③国道7号由良坂の「登坂不能」リスクが軽減

【冬期の安全性向上】

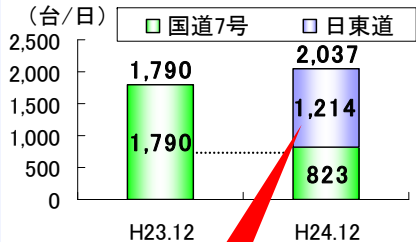
- ◆国道7号由良坂では、登坂不能となる大型車により通行規制が発生していたが、大型車が高速道に転換したため、登坂不能リスクが低減



《由良坂に比べ平坦な高速道》



《大型車交通量の変化》



④温海～鶴岡間の交通事故が減少

